

集落支援員制度活用事業

2,953万円

市民協働・自然共生課

各地区・各校区地域づくり計画を作成し、地域ごとの将来ビジョンの具現化を目指します。地域マネージャーと地域の連携を更に密にするため、集落支援員（内部支援員／25名）を採用します。また、地域づくり計画の作成作業を進めるにあたり、専門的識見をもった集落支援員（外部支援員／6名）を採用し、様々な資源を掘り起こし地域の特性を生かした総合計画の策定を目指します。

【主な経費】

- 集落支援員報酬等・・・・・・・・・・2,500万円
- 集落支援員研修費・・・・・・・・・・68万円
- 集落支援員活動経費・・・・・・・・・・385万円

わがまち元気創出支援事業

911万円

市民協働・自然共生課

これからのまちづくりは、まちづくりの基軸を「地域・地区」に置くことや、地域コミュニティの意識の形成・醸成、住民発意型のまちづくりへの移行、NPO・ボランティア等の強化促進が必要であるため、このことを目的とし市民が自ら考え、自らが実践する、市民が主役のまちづくりを推進するための支援を行います。

【主な経費】

- わがまち元気創出支援事業補助金・・・・・・・・900万円



お知らせ

地域のまちづくりを推進する場合、助成制度があります！

●事業主体

市内各地区、市内にあるNPO法人等

●事業内容

市民参画や協働による人づくり・まちづくりを推進するため、地区、NPO等が自ら考え、自ら実践する人づくり・地域づくり事業に対し事業費の補助を行います。

●補助対象事業

報償費・旅費・消耗品費等需用費（食糧費は除く）・役務費・使用料・原材料費・備品購入費など

●補助限度額

・市民特認事業

承認事業費から特定財源を差し引いた額の全額（100万円が上限）

・認可事業

承認事業費から特定財源を差し引いた額に3/4を乗じた額（50万円が上限）

いずれも備品購入費は算定が異なります。



地域活性化・地域住民生活等 緊急支援交付金事業

平成26年度国の補正予算による緊急経済対策交付金を活用して以下の事業を実施します。（平成26年度対馬市一般会計補正予算（第7号）（平成27年3月）計上事業）

●対馬域内消費拡大事業

9,506万円

観光交流商工課

プレミアム商品券等を発行し、様々なイベントと協調しながら市内の消費拡大、商業の発展、子育て世帯の支援（商品券のプレミアム部分の上乗せを予定）を図ります。

●対馬版人口ビジョン及び総合戦略策定

1,198万円

政策企画課

人口減少・高齢化という市が直面する大きな課題に対し、地域の人口動向の分析を行い人口の将来展望を示すとともに、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するための目標を設定し、講ずべき施策の方向性を示していきます。

創業等支援事業

1,000万円

新政策推進課

以下の4つの補助金メニューで、創業や新たな取り組みを支援します。

- ・6次産業化推進事業補助金
- ・農商工連携支援事業補助金
- ・新規ビジネス応援事業補助金
- ・対馬どぶろく特区活用支援事業補助金

小さな拠点づくり事業

830万円

未来創造・交通政策課

市内北部の過疎化・高齢化が顕著な地域に、地域による有償運送を導入し、交通移動手段を確保するとともに、空き時間を利用し、配食サービスを活用した高齢者見守り事業や買い物支援事業を展開し、安心して暮らせる地域を目指します。更には、地域外大型商店への送迎や各種イベントを開催することにより、外出の機会を提供し、他の人々と交流することによって元気な高齢者を生み出し、活気あふれる地域を構築するモデル事業を予定しています。

林業の星スキルアップ研修事業

200万円

農林・しいたけ課

林業は、木材生産を重視した「木を育てる時代」から、経営努力が必要な「木を利用する時代」へと変化しており、事業体の求める技能レベルがさらに高くなっています。林業従事者が業務遂行上、必要な資格及び免許取得のために必要な島外渡航費用に対する助成を行います。

水産物流通拡大事業

700万円

水産課

一番近い大消費地である韓国（釜山）等への輸出を検討・模索し、釜山国際水産貿易EXPOに市と民間が一体となって出展することで、販路の拡大、水産物の価格安定及び島内外消費の拡大等を目指し併せて韓国からの誘客を図ります。

VISIT TSUSHIMA (ビジット・ツシマ) 事業

3,303万円

観光交流商工課

本市が有する観光素材を有効にPRし国内からの誘客を図るとともに、本市を訪れる外国人観光客の満足度を高めて、さらなる外国人観光客誘致を推進します。

- ・ANAが保有する大型機に対馬市の名前等をラッピングし、座席ポケットにパンフレットを搭載することによって、搭乗者に対馬の魅力を伝えます。
- ・観光情報誌等を媒体として対馬の情報を発信します。
- ・国内外からの観光客のインターネット利用環境の向上を図るため、Wi-Fi環境を整備します。
- ・外国人観光客に対する映像による情報の伝達（日本文化、マナーの周知等）

